

家族会だより

第26号 道北知的障がい児・者家族会

令和3年7月発行

令和3年度事業の開始について

= 医療費実態調査ご協力への御礼 =

道北知的障がい児・者家族会 会長 樋口 英男



日頃から、道北知的障がい児・者家族会の各種事業推進につきましては、格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当会の令和3年度定期総会は、新型コロナウイルス感染防止のため書面総会として開催しましたが、6月25日付で令和2年度事業報告・決算及び令和3年度の事業計画・予算について全会一致でご承認頂きましたことを、皆様にご報告申し上げます。ありがとうございました。

また、当会において重点事業として位置付けました医療費の無料化拡充要望活動に資する目的で今春に医療費実態調査を行い、道北地区各施設職員の皆様のご協力により当会に加入されておられない施設も含めて25施設から回答を頂戴いたしました。

施設職員の皆様には、日常業務でお忙しい中、当会の調査にご協力くださいましたことに心から感謝申し上げます。

この紙面にて調査結果の概略を掲載いたしましたので、どうぞご覧ください。今後詳細な分析を行い、コロナ禍のため期間も要しますが、各役員の方針などもお聞きしながら調査結果をまとめ終わりましたら、行政に対する要望趣旨も含めて皆様にお知らせいたします。

令和3年度もコロナ禍の中で始まりました。高齢者及び施設利用者職員へのコロナワクチン接種も進んでいますが、感染力が強いインド型デルタ株が蔓延してきており、夏休みやオリンピックの影響で北海道の感染状況が悪化しないか危惧され、気の抜けない日々が続きます。

当会の活動も、当面は引き続きメールやFAXを介してのものとなり、集合しての会議や研修会の開催については、コロナの収束状況を見ながら慎重に判断してまいります。

従いまして、当会の事業活動全般について制約が伴いますが、会員各家族会のご協力とご支援、事業所の皆様のより一層のご協力を頂きながら、障がい者に寄り添った運動を実施してまいりたいと思います。

結びになりますが、知的障がい児・者の幸せを最優先して運動を展開していくことが最も重要であり、息の長い要請運動が不可欠であると考えておりますので、道北知的障がい児・者家族会は今後も会員各家族会が団結して各施設関係者と連携を密にしながら、知的障がい児・者が安心して・安全で・楽しく暮らせる地域社会を作り出すために、関係諸団体と連帯して各家族会の思いを発信し活動してまいりますので、今年度もよろしく願いいたします。

道北知的障がい児・者家族会の定期(書面)総会の結果報告

(議決権行使書提出総数：21 賛成・承認 21 反対・不承認 0)



前年度事業報告、同決算報告、監査報告はすべて承認されました。

事業報告：(書面) 定期総会 R2.6.20、(書面) 役員会 R2.5.22
「家族会だより」1回発行 R2.6 など

決算報告：(収入) 決算額 654 千円 会費収入 398 千円 前年度繰越金 256 千円
(支出) 決算額 176 千円 主な支出は 道家連会費 168 千円 道役員会旅費 7 千円など
(収入) - (支出) = 次年度繰越金は 478 千円

議案の新年度事業計画(案)、予算(案)ともに異議なく議決されました。(コロナ禍収束が前提)

事業計画：加盟家族会の連携と情報交換(家族会だよりを年間2回発行、研修会等の開催)、未加入家族会への加入呼びかけ、情報収集と研修、道家連との連携、全施連関連議論
重点事業：知的障がい者の医療費の無料化の取り組み(後述)

予算収支：(収入) 予算額 878 千円 会費収入 400 千円 前年度繰越金は 478 千円
(支出) 予算額 878 千円 主な支出は 道家連会費 168 千円 役員会旅費 250 千円
研修会費 50 千円など 予備費は 380 千円です

重点事業：知的障がい者の医療費の無料化の取り組みについて

今年度も「知的障がい者の医療費の無料化(拡充)」要望活動に道北家族会として重点的に取り組んでまいります。

当面の活動として、各施設のご協力により行われた医療費実態調査の集計と詳細分析を行い、各役員の方針などもお聞きしながら調査結果をまとめ終わりましたら、行政に対する要望趣旨も含めて皆様にお知らせいたします。

今年度も書面総会となったため、役員選出や改選手続きを行うことは困難でした。従いまして、会議形式での総会を開催できるようになるまで、特例的に現在の役員がそのまま留任することをお願いいたしました。よろしくお願いいたします。

なお、事務局実務分担は、旭川ねむのきの園(総務)、希望学園(会計)、上川更生ハイム(広報)の3施設です。ご協力に心から感謝いたします。

総会の議決権行使書ご意見欄には、「施設利用者への早期コロナワクチン接種を望む」(山瀬様)との記述がありました。旭川市などでは国からのワクチン供給量の関係で接種が遅れている状況があります。

知的障がい児者 医療費実態調査 結果の概略(速報)

知的障がい児者医療費実態調査は、当初の4月末日での〆切を延長し、6月末日到着分をもって終了しました。施設職員の皆様には、日常業務でお忙しい中、当会の調査にご協力くださいまして本当にありがとうございました。調査結果の概略(速報)は以下のとおりです。(事務局長 植村)

***入所・直営 GH 利用者総数 1,152 人 最多の年代 40~64 歳 652 人 (56.6%)**

療育手帳 A 所持者 767 人(66.6%) 療育手帳 B 〃 367 人(31.9%) 精神障害者手帳 〃 11 人
慢性疾患、生活習慣病有り 775 人 (67.3%) 定期的受診治療有り 950 人 (82.5%)

医療費の自己負担が年額5万円以上の利用者は71人でした。

医療費困窮実例：療育手帳 B で障害年金2級の入所者が GH での生活を目標に作業を頑張っているが、医療費を年間約22万円支払っているため、GH への入居は金銭的に大変難しい。

***通所 利用者総数 455 人 最多の年代 40 歳未満 216 人 (47.5%)**

療育手帳 A 所持者 166 人(36.5%) 療育手帳 B 〃 247 人(54.3%) 精神障害者手帳 〃 8 人
慢性疾患、生活習慣病有り 167 人 (36.7%) 定期的受診治療有り 221 人 (48.6%)

医療費の自己負担が年額5万円以上の利用者は18人でした。

医療費困窮実例：内科等を定期受診していると経済的負担がとても大きい。助成してほしい。

家族会 施設のご紹介

当会に加盟している各家族会と各施設を順次ご紹介します。
今回は「北の峯学園 家族の会」です。

【家族会等の名称】 北の峯学園 家族の会

【施設の名称・所在地・利用定員】

障がい者支援施設「北の峯学園」 富良野市中御料

| | |
|----------|------|
| 施設入所支援 | 100名 |
| 生活介護 | 110名 |
| 就労継続支援B型 | 10名 |
| 短期入所 | 2名 |



【施設の特徴】

北の峯学園は、自然豊かな観光の街「富良野」に位置しており、昭和49年12月25日に開設し、平成20年には全面改築を行いました。

ご利用者が「その人らしい生活」が送れるよう、一人一人に合った支援を提供させていただいております。 ホームページ：<https://www.furanoasahigou.or.jp/>

【施設の産品・直営店等】

北の峯学園では、就労継続支援B型にてレストラン北峯舎(ほっぼうしゃ)を営んでおります。以前は北の峯学園家族の会で営んでいましたが、平成27年に富良野あさひ郷へ移管しました。オススメは「ら〜めん」と「カレー」です。富良野に来た際は、是非ご来店ください。

北峯舎 TEL0167-22-3185 営業時間 11:00~17:00 (定休日:月曜日)

【家族会等の主な行事と開催時期】

家族会総会(5月) 観桜会(5月) 学園祭(7月) 1泊旅行(6~10月)

【家族会等、施設の自己紹介コメント】

北の峯学園家族の会は、「利用者の福祉向上」のため必要な支援を行うことを目的として活動しています。主に、各施設行事での支援、帰省送迎費用やインフルエンザ予防接種の助成、施設整備の充実等に取り組んでおります。



家族の会主催
学園祭 抽選会

家族の会 総会



※写真はコロナ禍以前のものです。